

Scope 43

名城大学工学部後援会 創立40周年記念号 会報誌 **スコープ** 2016

祝! 工学部後援会
創立40周年

特典映像付き
工学部紹介 **DVD** プレゼント



Scope 43

名城大学工学部後援会 会報誌 **スコープ** 2016

平成28年6月1日発行

[編集] 名城大学工学部後援会 編集担当委員会

[制作・印刷] 株式会社プリアートコーポレーション

[発行] 名城大学工学部後援会事務局

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口1-501

Tel 代表 052-832-1151 (内線 2580)

Tel・Fax 直通 052-831-9214

E-mail jimukyoku@meijo-rikokoen.jp

<http://www.meijo-rikokoen.jp>

名城大学工学部後援会

検索



今年、名城大学理工学部後援会は創立40周年を迎えました。
2014年、人類の未来を変えた光、青色LEDの発明によりノーベル物理学賞の栄冠に輝いた
名城大学の赤崎勇終身教授と名古屋大学の天野浩特別教授、
そして1991年、軽量・強靱・超高温にも耐える新素材、カーボンナノチューブを発見した飯島澄男終身教授に
ご祝辞と学生たちへのメッセージをいただき、色紙には「座右の銘」を書いていただきました。



飯島澄男 終身教授
名城大学大学院理工学研究科
電子顕微鏡とナノチューブの世界的権威
文化功労者顕彰(2003)、文化勲章受章(2009)



天野浩 特別教授 (元名城大学教授)
名古屋大学大学院工学研究科
20世紀中の実現は不可能とされた青色LEDを発明
文化功労者顕彰(2014)、文化勲章受章(2014)
ノーベル物理学賞受賞(2014)



赤崎勇 終身教授
名城大学大学院理工学研究科
20世紀中の実現は不可能とされた青色LEDを発明
文化功労者顕彰(2004)、文化勲章受章(2011)
ノーベル物理学賞受賞(2014)

挑戦

理工学部後援会創立40周年、誠におめでとうございます。
理工学部後援会は現役の学生さんを支援するきわめてユニークな組織であります。理工学部の更なる発展のために今後ともよろしく願っています。
学生のみなさんは、とにかく一生は短いので大学4年間のうちに自分の一番やりたいこと、得意なことを見つけてその実現のために果敢に挑戦してください。

限りある身の力試しさん

理工学部後援会創立40周年、誠におめでとうございます。
名城大学時代には地区懇談会等いろいろ経験させていただきました。学生さんたちが学業やスポーツをがんばるのも後援会のバックアップのおかげだと思います。
私は学生時代、両親や大学のサポートがあったので研究に集中できました。恵まれた環境の中で今しかできないことにのめり込んでいけば、未来は開けてきます。

諦めなければ道は開ける

本年、理工学部後援会が創立40周年という節目の年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。
1949年、湯川秀樹先生のノーベル賞受賞に衝撃を受け、京都大学の学食に行く途中のプラタナスの並木道で、小さなことでもいいから何か人がやっていないことをやりたいと強く思いました。学生さんたちには本当に好きなこと、やりたいことをやってほしいと思います。

平成28年度名城大学行事予定

- 4** 1(金) ● 入学式・オリエンテーション
1(金)・2(土) ● 新入生オリエンテーション
4(月) ● 前期授業開始日
- 7** 18(月・祝) ● 補講日
7/22(金)~8/2(火) ● 定期試験(予備日8/3(水))
30(土)・31(日) ● オープンキャンパス(天白)
- 8** 未定 ● 夏季集中講義期間
8(月)~17(水) ● 窓口閉鎖期間
22(月) ● 定期試験成績発表
8/29(月)~9/1(木) ● 追・再試験期間
- 9** 8(木)・9(金) ● 追加履修登録期間
14(水) ● 後期授業開始日
22(木・祝) ● 開学記念日
- 11** 2(水) ● 大学祭準備
3(木・祝)~5(土) ● 大学祭
6(日) ● 大学祭後片付け
上旬 ● スポーツ推薦入試
中旬 ● 公募制推薦入試
- 12** 27(火) ● 年内授業終了日
12/28(水)~1/4(月) ● 窓口閉鎖期間
- 1** 5(木) ● 授業再開日
10(火) ● 補講日
13(金) ● 大学入試センター試験準備(5時限~)
14(土)・15(日) ● 大学入試センター試験
17(火)~25(水) ● 定期試験(予備日1/26(木))
31(火) ● 入試準備
- 2** 上旬 ● A・F・M入試
9(木) ● 定期試験成績発表
中旬 ● B・F入試
16(木)~22(水) ● 追・再試験期間
2/下旬~3/上旬 ● 転学部等試験
- 3** 17(金) ● 卒業式
下旬 ● 次年度在学生ガイダンス

最新情報は名城大学ホームページをご覧ください。
<http://www.meijo-u.ac.jp/>

Contents

特集

- 02 祝！理工学部後援会創立40周年
- 03 理工学部発 期待のプロジェクト！
- 07 理工学部 2016
- 13 理工ロマンの旅 vol.4 コンタクトレンズ
- 15 大学院理工学研究科 OBインタビュー
- 16 平成27年度 卒業生インタビュー

後援会の活動紹介

- 17 理工学部後援会の活動
- 19 フレッシュマンセミナー
- 21 ご父母のための進路セミナー
- 25 地区懇談会
- 29 家庭教育支援セミナー
- 31 学生奨励表彰式
- 33 その他の活動紹介

名城大学理工学部後援会 創立40周年記念 DVD特別プレゼント！

表紙切り絵／小谷精鋭

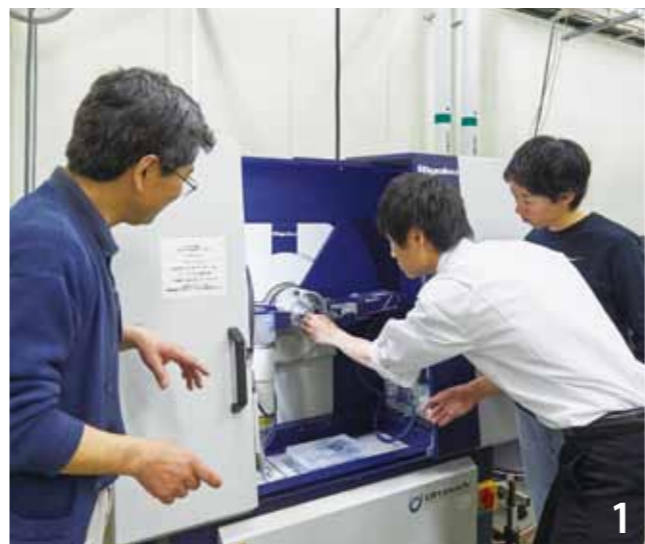
odani seiei
「日本きりえ協会」所属。
切り絵の世界に魅了されて25年。
見て「ほっとする」落ち着いた作品創りがテーマ。
古い町並み・建築物をはじめ、
ジャズ・楽器を題材としたものなど
切り絵表現の可能性を追求し創作を続けている。

理工学部発

期待のプロジェクト!

1 ナノサイエンスプロジェクト

飯島澄男終身教授によるカーボンナノチューブの発見以降、原子や分子の配列をナノ(1ミリの1000分の1)でとらえるナノサイエンスの可能性が大きく広がっています。



大学は、高等教育機関であると同時に最先端を行く研究機関でもあります。名城大学理工学部は、長きにわたって培ってきた実績をベースに、より高度な研究を重ねており、豊かな未来を開く力となり得るプロジェクトが現在進行中です。その中から代表的な4つのプロジェクトをご紹介します。

軽量・強靱で超高温にも耐えるフレキシブルな新素材。

カーボンナノチューブとは、炭素原子が網目のように結びついて筒状になったものです。直径は数ナノメートルと人の髪の毛の5万分の1の細さのチューブながら鋼鉄の数の強さと曲げても折れないしなやかさを持ち、電気を通す金属になったり、通しにくい半導体にもなり、そして熱伝導性もよい...という優れた性質を持つ、まさに夢の新素材なのです。

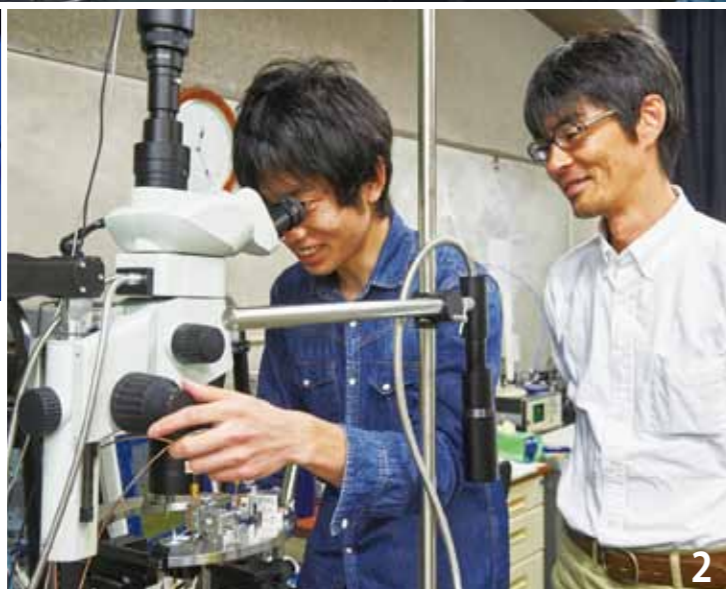
ナノテクノロジーでこれまでになく新素材を生み出す。

ナノ炭素材料・ナノ酸化物材料の作製や物性の探索・評価を主なテーマとする応用化学科坂東俊治教授は「カーボンナノチューブに留まらず、新たなナノ物質の創生・分析へとチャレンジ精神旺盛なのが飯島先生の凄さ」と言います。様々な角度から研究・開発が進むナノサイエンスへの期待は高まる一方です。

- 1 太陽光発電用ナノ材料の結晶構造を詳細に分析調査。
- 2 透過型電子顕微鏡を使ってナノサイズの分子を観察。

2 未来の光源LEDプロジェクト

2014年、赤崎勇終身教授のノーベル賞受賞によって注目を集めた名城大学のLED研究開発。広い分野での応用に向けた新しい発光素子が日々研究されています。



- 1 研究室では様々な新機能発光素子の実現に取り組んでいる。
- 2 竹内教授らのもとで研究に励む博士課程の大学院生。
- 3 わずか2ミリの超小型LEDディスプレイを実現する高い研究力。

社会の新スタンダードとなる研究開発に取り組む。

赤崎勇終身教授の青色LED発明により実現した白色LEDは、現代社会において高効率照明や大型ディスプレイなどに幅広く利用されています。名城大学では2011年に企業や他研究機関との共同研究拠点となる「LED共同研究センター」を設立するなど、時代のニーズに応じて青色LEDを発展させる研究開発が進められています。

未来の夢を現実へと結びつける可能性。

現在、赤崎勇終身教授を筆頭に、上山智教授、竹内哲也教授、岩谷素顕准教授がそれぞれにテーマを掲げて研究を続けています。竹内教授が向き合う「未来の光源」スマートライトでは、LEDを発展させた新しい半導体レーザーを実現・利用することで、映像や情報を網膜に映し出す夢の眼鏡などへの応用が期待されています。

産業を活性化し、社会に貢献する研究を目指す。

長寿命で衝撃に強いなどの特徴を持つLEDは、照明以外にも医療や通信分野での活用が期待され、それに向けた新しい発光素子、さらには新規材料にまで遡った研究が進められています。「社会のためになるデバイス研究を」という「赤崎イズム」は、ここ名城大学で進化し、次世代に受け継がれています。

高度道路交通システムプロジェクト

情報通信技術を活用して、渋滞などの交通問題や地球温暖化などの環境問題の解決を図ることを目的とした新システムの研究開発が進んでいます。



- 1 ドライビングシミュレータを用いた開発システムの検証。
- 2 ヴァーチャル機器を装着してリアルな運転感覚を再現。
- 3 活発に意見交換を行い、新しく創造的な研究アイデアを生む松本研究室の学生たちの笑顔。

ICT(情報通信技術)によって安全で快適な社会を構築。

高度道路交通システム(ITS: Intelligent Transport Systems)とは「人と道路とクルマの間で情報通信して、安全で快適、環境にもやさしい道路交通環境を実現する新しい交通システム」。社会基盤デザイン工学科・松本幸正教授の研究室では、「誰もが安心して暮らせる人と環境にやさしい交通まちづくり」をテーマとして、最新のITSに関する研究や持続可能な地域公共交通についての研究を進めています。

実際の道路状況に基づいた再現性の高いシミュレーション。

例えば、最適な走行速度情報の提供によって自動車赤信号で停止することなく目的地に到達できれば、ドライバーは快適に運転でき、停車・発車の際に発生する二酸化炭素も削減できます。同研究室では、ドライビングシミュレータを活用し、こうした走行の疑似環境を構築しました。現在は、信号制御との連携も進めており、これらの研究成果はクルマの自動走行に役立つと考えられています。今はまだ「しくみづくり」の段階ですが、遠くない将来にITSのメリットを享受し、安全・快適な道路が「当たり前」になり、子供たちからお年寄りまですべての人たちにやさしく、そして環境にもやさしい交通まちづくりがそこまで来ていると考え、今から楽しみます。

名城大学×町家プロジェクト

歴史の趣深い町並みを今に残す名古屋・有松地区で、古い町家の改修をベースとした新たな動きが徐々に広がりを見せています。



服部良也邸「主屋」

1・2・3 塀の改修にあたっては、有松の町並みとの調和をコンセプトとし、木と石を組み合わせて、町歩きの人々の目に腰掛けて一休みできる工夫も組み込みました。今後は壁面や屋根に傷みがある「主屋」の改修も検討しています。



有松絞りを活用した行灯によるインスタレーション



服部邸の歴史をプロジェクションマッピングで紹介

有松の景観を大切にしつつ新たな風を吹き込む。

愛知県指定文化財の土蔵を持つ服部良也邸は、東海道沿いの景観の核となる存在のひとつです。2014年夏、蔵および隣接する建物を所有する服部良也氏から「有松の町屋を大学の教育・研究の題材にしませんか?」と建築学科 柳沢准教授が連絡を受けたことから、プロジェクトは始まりました。

「塀」の改修から見えてきたまちづくりの可能性。

プロジェクトとして最初に取り組んだのは、通りに面する塀の改修事業でした。学生たちは景観に配慮しつつ新たな機能を持たせた複数の案を提案し、自分たちが身体を動かして施工・完成させました。これを通して有松の町とも関わりを持った柳沢研究室は、他の研究室も巻き込み、単なる古民家の耐震補強・改修に留まらない大規模プロジェクトへ発展させるという方向性を見だしていきます。

学生と町との関わりから広がり続けるプロジェクト。

今年2月、服部良也邸で建築学科三浦彩子研究室によるアート展示が行われたほか、今後は都市情報学部の「まちづくり」、農学部の「果樹・農を軸とした地域交流」など、服部良也邸を拠点とした各種プランで教育研究と地域活動のコラボレーションによる活性化がますます進む予定です。この先どのように展開し、魅力を増していくのか、目が離せません。

11学科の学びと教養教育のご紹介

教育・研究の充実を通じて、
社会に貢献できる人材を育成します。

今年90周年を迎える名城大学は、開学100周年となる2026年に向けて「MS-26戦略プラン」を始動させました。これは「教育」「研究」「社会貢献」という大学としてのミッションをより高いレベルで果たしていくことを目的としています。理工学部では、来春に2つの大学院がスタートし、ますますの教育・研究の質の向上を図ります。それにより、社会に貢献できる人材の輩出を目指します。進化し続ける名城大学理工学部にご期待ください。



名城大学理工学部 学部長
加鳥 裕明

教養教育

専門教育の基礎固めとしても
より良く生きる上でも不可欠な知識と教養

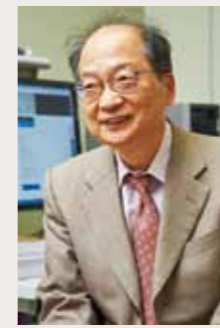
教養教育の役割は、2〜3年次以降に専門性を深める際の基礎力をつけることに加え、「人としての豊かさ」を育むことでもあります。研究に際して、視点を変えることや視野を広げることで研究のヒントをつかむのはよくあること。また将来、社会人として多くの人と交わる上でも、一般教養は不可欠です。教養教育を通じて基礎を養うと共に、積極的に教員に質問するなど、「学ぶ姿勢」も身につけて欲しいと思います。



教養教育長
中山 章宏

数学科

数学に基づいた論理的思考力で
求められる人材へと成長



学科長
江尻 典雄

多様な学問がある中で、数学ほど明確な定義に基づいて証明を行い、真理を導き出すものはないでしょう。本学科では代数学・解析学・幾何学・数理情報・計算機科学の5分野について系統的に学べるカリキュラムを組んでいます。数学科教員を目指して入学する学生が多いですが、数学を通して養われる論理的思考力への期待から、いろいろな業種の企業等からのニーズが高いのも特長です。また、大学院への進学もぜひご検討いただきたいと思います。

Pickup

土田哲生 研究室



微分方程式をテーマに研究

周期係数をもつ微分方程式に関心を持って研究を行っている土田教授の研究室では、課題図書を通して数学への理解を深めています。ゼミでは学生が順に自分が担当する章を要約して内容を解説し、先生がコメントを加えるほか、学生同士で質疑応答をして互いに学び合います。中学・高校の数学科教員を目指す学生が大半で、人前で教え伝える良い練習の場ともなっています。

情報工学科

産業や社会の様々な分野で
活躍できる情報技術者を育成



学科長
柳田 康幸

情報工学は、今や産業ばかりか日常生活のあらゆる場面で不可欠な存在です。本学科は情報数学、コンピュータ基礎、プログラミングなど情報処理技術の基礎を学んだ上で「情報通信」「情報デバイス」「情報処理」「情報メディア」の少なくともひとつの分野の専門知識を体系的に習得できるカリキュラムで、学びと共に自ら考え、行動する力も身につけていきます。ご家庭では、日々学び成長するご子弟を温かくお見守りいただければ幸いです。

Pickup

亀谷由隆 研究室



データを活用する技術を研究



亀谷研究室では、機械学習・データマイニングの方法論・応用に関する研究を行っています。データマイニングとは、統計学やアルゴリズムの知識を使って大量のデータから何らかの相関性などを導き出す技術です。学生たちは、音楽や野球といった各自の興味の対象をテーマに設定し、例えば音楽推薦ソフトの作成などを通してデータの活用技術を身につけ、情報発信力を高めていきます。

電気電子工学科

基礎の学びと専門知識を
幅広い分野に応用できる人材を育成

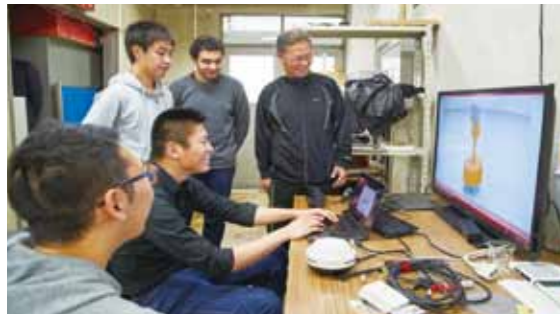


学科長
伊藤 昌文

電気電子技術は、電気エネルギー・情報通信・家電製品など生活のベースとなる分野をはじめ輸送機器や食品・医療関連機器など、現代社会に必要不可欠な基盤技術となっています。これらを支える技術者を、世に送り出す役割を担う本学科では、さまざまな分野への進出を可能にするための基礎教育・実感教育に重点を置いています。確かな基礎学力と電気電子工学分野の専門知識、その応用力や問題解決能力を有する電気電子技術者を育成します。

Pickup

辰野恭市 研究室



低コストのロボット開発を目指す

ロボットの普及につながるオープンロボットコンテスト(どのロボットにも共通した基礎要素)の開発を目的とする研究室です。現在は配電作業を行う「半自律的アームロボット」と、高齢者を見守る「遠隔訪問ロボット」の製作を中心に、島根県産業技術センターとも連携して研究開発を行っています。今年度は学部生9名・院生10名・モロッコからの留学生1名で実験・検証に取り組みます。



交通機械を通して、
社会に貢献できる優れた人材を育成

本学科では、時代の要求に応える「知的ものづくり」のため、交通機械に軸足を置いたハード面・ソフト面とも充実したカリキュラムによって、機械工学の基礎学力と応用技術を身につけます。東海工リアは自動車や航空宇宙産業において日本をリードする存在であり、卒業生の多くがこの分野に就職しています。一方、将来的に設計・開発専門職などを目指すならば、大学院での研鑽をぜひご検討いただきたいと思います。



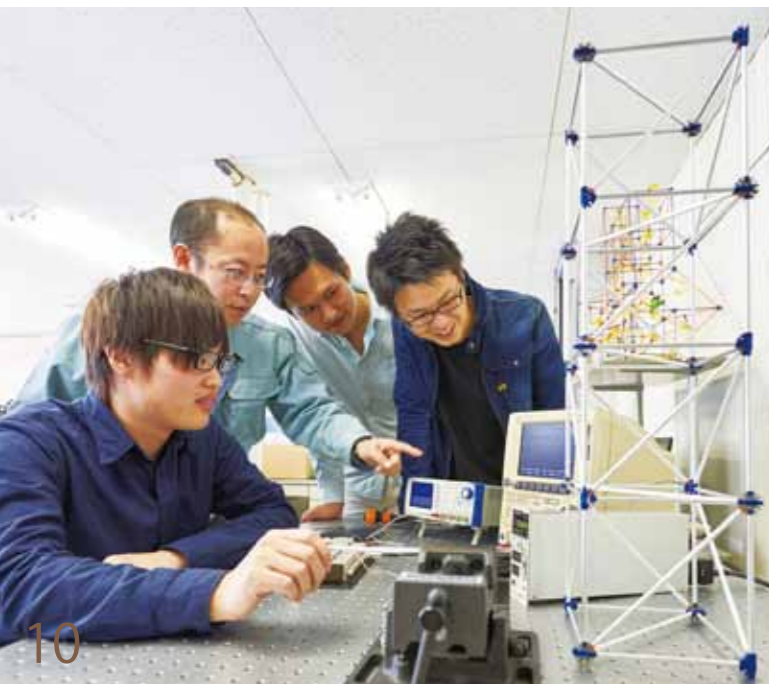
学科長
前川 明寛

Pickup 仙場淳彦 研究室



仙場准教授は、構造物が環境や状況の変化に応じて構造特性を変化させる「適応構造システム」を専門としています。この研究室では、計測器を用いて構造モデルの変形・振動特性等を計測するなどしながら、航空機や人工衛星などへの応用を指して適応構造システムに関する研究に取り組んでいます。また、快適性を追求した航空機の座席に関する研究など実用性の高いテーマにも取り組んでいます。

適応構造システムの研究と応用



自ら考え、積極的に行動できる
創造性豊かなメカニカルエンジニアを育成

熱流体、材料・強度、設計・生産、運動力学制御の4領域を体系的に学べる本学科は、実験・実習など実践的なカリキュラム編成です。自動車・機械・電気・航空宇宙・医療機器・工作機械・鉄鋼などの産業から公務員まで、あらゆる分野で活躍できるメカニカルエンジニアを育成します。学生たちにはぜひここで、知識・技術だけではなく、「自ら考える力」「やり抜く力」そして「国際感覚」を身につけ、世界を舞台に活躍することを期待します。



学科長
来海 博央

Pickup 清水憲一 研究室



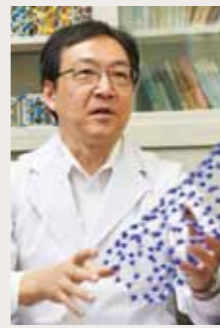
実社会で役立つ人材を育成



金属材料や複合材料の時間や負荷などによる変化に着目した実験・観察を中心に研究し、どのような材料を用いるべきかを考察しています。ナノ結晶などを観察する電子顕微鏡など高度な機器を実際に扱いながら解析を行い、ニーズに応える人材の育成にも努めている研究室です。卒業生たちは即戦力として期待されて自動車関連をはじめとするメーカー各社に進み活躍しています。

化学の持つ未知の可能性を拓く
創造性豊かな人材を育成

化学を主役とした環境テクノロジーは、生分解性プラスチック、バイオ燃料、電池材料ほか多彩な製品を生み出し、環境問題に貢献するものです。本学科は、合成化学「物質・材料化学」、環境・エネルギー材料「3領域」を設け、化学に立脚した学びを展開しています。来春はいよいよ大学院もスタートします。次世代テクノロジーをさらに発展させる開発のチームリーダーとなり得る技術者の育成を目標に、さらなる学びと設備の充実を図ります。



学科長
丸山 隆浩

Pickup 才田隆広 研究室



才田研究室では、表面化学を専門とする才田助教の指導のもと、燃料電池の心臓部ともいえる「電極触媒」や、蓄電デバイス「電極材料」に関する研究を行っています。「刻々と変化している社会に対応できる人材を輩出したい」という才田助教に込めるように、研究室に所属する6名の学生たちは、自発的に課題プランを立てて積極的に実験データの分析など研究活動に取り組んでいます。

新規材料の創製を目指す



エネルギーなど世界的な問題解決に向け
材料分野の技術者、研究者を養成

本学科では、ノーベル賞で注目されたLEDやカーボンナノチューブなど、未来を切り拓く可能性に満ちた新材料から、機能性材料、生体材料まで、社会に貢献する幅広い領域を学びます。国際的に活躍できる人材育成プログラムを強化し、企業との共同研究の機会にも恵まれているのが特長で、大学院でのさらに充実した研究を含め、実践的な人材を社会へ送り出しています。ご家庭では、進学もふまえてご子息の将来の可能性をお支えください。

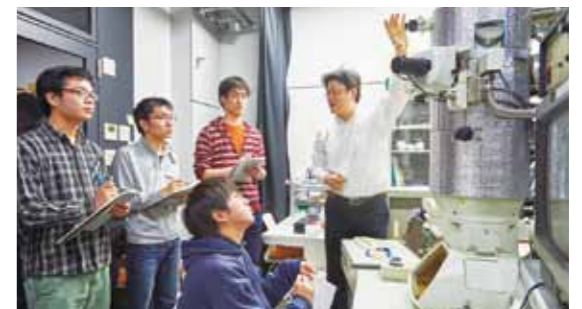


学科長
上山 智

Pickup 田中崇之 研究室



触媒機能材料の実験・研究



田中研究室では、化学反応時の触媒を観察できる透過電子顕微鏡を開発し、既存装置では見えない構造と機能の関係を探っています。学生たちは、まずは装置の動作原理から学びます。「研究とは新しい課題への挑戦」と語る田中准教授は、学生に対して、実験で得た結果から背後にある関係性を読み解き、課題解決へとつなげる分析・解決の力を身につけてもらいたいと考えています。

建築学科

基礎知識と共に、多様な価値観に対応できる柔軟性を身につける

建築学科の大きな特長は、学問領域の広さです。デザイン、建築設計から建築工学、都市計画と実に様々で、アートとエンジニアリングの狭間で基礎知識から順に学びを深めていき、多様な価値観を身につける必要があります。そのため、例えば設計者を目標して建築物を見て歩くなら、出来上がった建物だけでなく建築過程にも目を向けるなど、学生たちには物事を多角的な視点から観察する習慣を身につけてもらいたいと考えています。



学科長 寺西 浩司

Pickup 谷田 真 研究室



家具づくりから住宅設計・建築、まちづくりまで、広く建築、都市空間デザインを対象としています。特に「ものづくり」にこだわりの、学外のコンベンにも積極的に参加するなど、実際に形あるものを作り上げる手応えを実感できる研究室です。今年度は下呂市や製材業者らによるプロジェクトに加わり、名古屋市内で下呂の木材を使った家具製作ワークショップの開催などを予定しています。

形あるものを世に生み出す



環境創造学科

「環境創造工学」の観点から学習・研究体制を充実させる

「21世紀は環境の世紀」と言われています。環境をとりまくさまざまな課題への関心が高まる中、環境創造学科では、より充実した研究活動を展開するため、基礎学力を重視した指導を行うとともに、平成30年度以降のカリキュラム変更を計画しています。今後はエネルギー・資源循環分野をより充実させる予定です。技術士ほか各種資格取得や、専門性を高める大学院進学も支援し、広く社会で求められる人材の育成に注力していきます。



学科長 道正 泰弘

Pickup 小塩達也 研究室



道路構造物、特に橋梁の維持管理に関する研究を行っています。単に新たなものづくりを進めるのではなく、橋梁を点検して適切な補修・補強をするなど、今ある資源を活かすための方策を考えるものです。学生たちは、研究を通じて自ら課題を発見し、適切な判断をしながら解決を図る能力を高めていきます。小塩准教授は積極的に就職アドバイスを行うなど、熱い指導を展開しています。

現代の「橋守」としての技術開発

社会基盤デザイン工学科

社会基盤を通して都市そして地域社会をデザイン

自然災害や人口減少などの課題がある中で、持続可能なまちづくりを実現するキーワードは、デザイン。本学科では「総合性」と「公共性」をテーマに、都市計画や防災計画などのソフトデザインから橋や道路などの設計・建設・維持管理などのハードデザインまで幅広く学べます。就職先も公務員、コンサルタント、建設会社ほか幅広い選択肢があります。ぜひ、実践力と知的体力を備えた「まちづくりのスペシャリスト」を目指してください。



学科長 松本 幸正

Pickup 岩下健太郎 研究室



玄武岩（ハサルト）を1500度の高温で溶かして繊維状にしたものなど天然素材に由来する繊維材は、一般的に環境負荷が小さく、未来を担う材料として期待されています。こうした材料で補強したコンクリート構造物の長寿命化を図るため、これらの性質や、土木構造物の補修・補強技術について研究を行っています。学生たちは実践的な研究を通して建設材料への興味を深めています。

自然由来の補強材を用いる



メカトロニクス工学科

メカトロニクスの思考で新たな機械を創造する人材を養成

メカトロニクスは、機械・電気・情報を統合した現代社会に不可欠な技術であり、産業を支え、日本が国際競争を生き抜くカギとなる重要な分野です。本学科では機械・電気・制御・コンピュータ技術など各分野の知識を融合し、メカトロニクス技術者として幅広いジャンルでこれまでにない新機能を有する機械を創造するための基礎力を養成します。丸一日を費やす実験や集中演習で広く深く学ぶ学生たちを、どうぞご家庭でも支えてください。



学科長 楊 剣鳴

Pickup 高畑健二 研究室



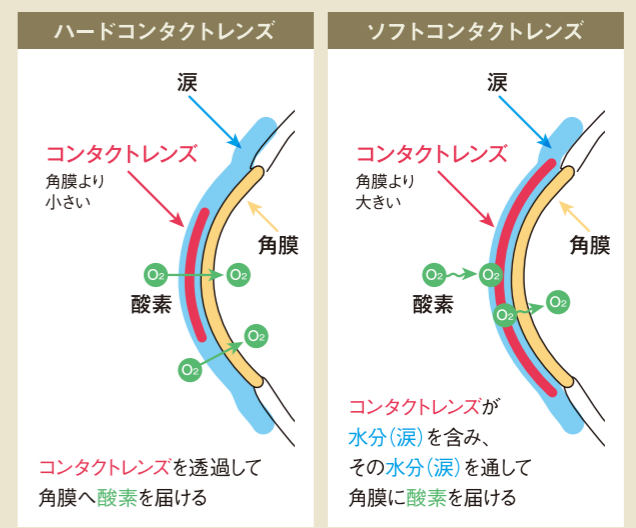
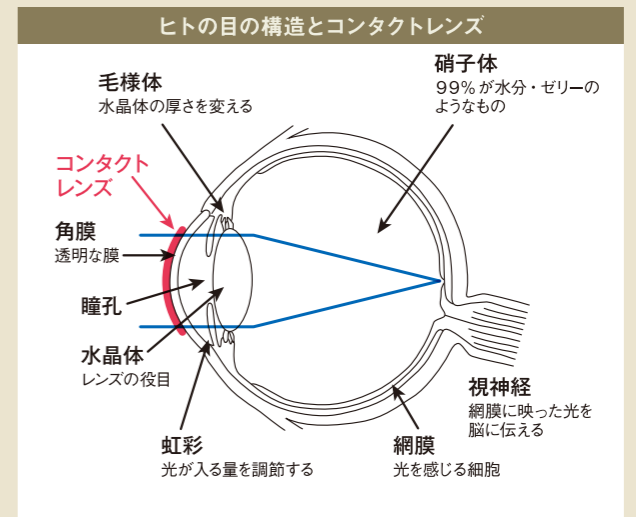
メカトロニクス技術を駆使して新技術の開発を目指す高畑研究室は、「温故知新」をキーワードに、「準天頂衛星「みちびき」に基づく走行軌跡を活用した自動車のステアバイワイヤ制御システム」「バイオメタンガスに適応した小型ガスエンジン発電機（農学部共同）」の研究・開発に取り組みます。従来の機械的制御機構をメカトロニクスに置き換えることで、更なる技術革新を目指しています。

メカトロニクスで技術革新

発想と材料工学のたまもの！ コンタクトレンズ

コンタクトレンズは人体機能を補助するために生まれた人工学・光学テクノロジーのひとつ。その歴史は長く、原理自体は今から500年以上前に考えられたようです。現代人の生活に当たり前のようになっている存在するコンタクトレンズは、いつ生まれ、どのような原理なのか？ ひも解いてみましょう。

ヒトの目とコンタクトレンズ



コンタクトレンズの素材

PMMA
ポリメチルメタクリレート
アクリル系樹脂の素材。この時点では酸素を透過しないため、装用できる時間に限界があったり、角膜に障害が発生したりと、課題はまだ多かった。

$$\left[\text{CH}_2 - \underset{\text{O}}{\overset{\text{CH}_3}{\text{C}}} \right]_n$$

※ 分子モデル代表例

ソフトコンタクトレンズ

Poly-HEMA
ポリヒドロキシエチルメタアクリレート
ソフトコンタクトレンズの素材は、水を含んでいるときは柔らかく、乾くと硬くなる性質を持つので、専用の保存液に浸しておく必要がある。Poly-HEMAは酸素透過性がほとんどないが、吸水する特性により涙を介して酸素を透過させる。

$$\left[\text{CH}_2 - \underset{\text{O}}{\overset{\text{CH}_3}{\text{C}}} \right]_n - \text{O} - \text{CH}_2\text{OH}$$

※ 分子モデル代表例

シリコンコンタクトレンズ
新素材の高酸素透過性コンタクトレンズ
最近では従来のソフトレンズの弱点を克服できる新素材として、シリコン製のレンズが販売されている。レンズの酸素透過量を向上させ、目が乾燥していても多くの酸素を取り込めるようになった。

Poly-HEMAの約3倍~4倍の酸素透過性

酸素を多く透過し、眼病を大幅に抑制

乾燥していても酸素を多く取り込める

コンタクトレンズの歴史

室町時代 1508年	コンタクトレンズの原理を発見?!
明治時代 1887年	ガラス製のコンタクトレンズのようなものを開発
昭和7年~11年 1932年~1936年	透明度の高いポリメタクリル酸メチル樹脂 (PMMA) を開発・実証
昭和12年~15年 1937年~1940年	ガラスとプラスチックの半合成レンズが作られ、後に全プラスチックのレンズを開発
昭和23年 1948年	PMMAを用いてハードタイプコンタクトレンズの原型を作り出す
昭和24年 1949年	名古屋大学の水谷豊博士が日本で初めて臨床試験に着手
昭和25年 1950年	水谷豊博士がプラスチック製の強角膜レンズを制作 ※ 現在のニチコン
昭和26年 1951年	田中恭一氏が日本初の角膜コンタクトレンズの実用化に成功 ※ 現在のメニコン
昭和35年頃 1960年頃	ソフトコンタクトレンズの素材となるアクリル系ハイドロゲル (HEMA) を発明
昭和45年頃 1970年頃	酸素を通しやすい酸素透過性レンズが開発される
昭和47年 1972年	厚生省 (現 厚生労働省) が国内コンタクトレンズメーカー7社にソフトコンタクトレンズ認可
平成3年 1991年	厚生省 (現 厚生労働省) が使い捨てコンタクトレンズ認可
平成12年~ 2000年~現在	1日使い捨て・2週間使い捨てタイプやシリコン製の高酸素透過性レンズが開発・販売されるなど、高い乾燥対策と酸素透過性をテーマにした高機能ソフトコンタクトレンズが主流となる

コラム



レオナルド・ダ・ヴィンチ
(1452年-1519年)

ダ・ヴィンチが原理を発見したってホント?!

現代社会において、視力の低い人々には欠かせないものとなったコンタクトレンズ。この原理を最初に考え出した人物が、「レオナルド・ダ・ヴィンチ」だと言われています。ダ・ヴィンチは芸術家や発明家として有名ですが、人体の仕組みについても探求しており光が眼球を通り、網膜に届く仕組みを絵に描いているという記録があります。

底が丸い透明な器に水を浸して顔をつけて器越しに物体を見ると見え方が変わることに気付く



ダ・ヴィンチが視力矯正の実験をしていたところ、上記イラストのような事実に気づいたことから、コンタクトレンズの始祖と言われるようになったようです。現在のようなコンタクトレンズそのものを発想したわけではありませんが、原理としては同じだと考えられます。これに気づいたのが今から500年以上前の1508年！本当にダ・ヴィンチの探究心には驚きを隠せませんね。

諸説あり!

平成28年3月18日、愛知県体育館において平成27年度の卒業式が盛大に挙行されました。晴れやかな表情の卒業生たちと、その姿を温かく見送る先生方の様子が印象的でした。皆さんの今後のますますのご活躍に期待します。



**「この先、奢るな!」
父の教えを胸に、
社会へ。」**

ふじい たつし
交通機械工学科 卒業

実は、航空業界に興味を持って交通機械工学科に入学しました。ところが、周囲の友人たちの影響もあって2年次には自動車に魅力を感じるようになって、自ら運転してアメリカ横断をしたり、原付で日本一周するなど、学生だからこその数々のチャレンジをしました。一方で理工学部の大先輩でもある父から「大学生は勉学第一」と強く言われていたので、日々の生活の中で勉強にも力を注ぎました。こうした姿勢が評価され、希望通りの就職ができたのだと思います。就職活動スケジュールが大幅に変わるタイミングで、内定が出るまで不安に感じたこともありましたが、今は「もっといいクルマづくり」を目指し、前向きな気持ちでいっぱいです。

トヨタ自動車株式会社 **就職**



進学 名城大学大学院理工学研究科



高校時代、東北の震災をきっかけに「道づくりなど土木に携わる仕事をしたい」と考え、大学の進路を決めました。当初は大学卒業後の就職を考えていましたが、「もっと学ぶべきでは…」と、進学を意識するようになりました。親に相談すると「好きな道を行けばいいが、学ぶならしっかり」と言ってもらえました。優柔不断なところのある私を急かさず、自分で結論を出すまで待つてくれた親には感謝しています。大学院では、引き続き河川堤防の実験などを重ねるとともに、先輩方のように後輩の学生たちを指導できる院生を目指したいと思います。そして将来は、「地図に残る」というスケールの仕事にぜひとも携わりたいと考えています。

はやし まなみ
林 愛実さん
建設システム工学科 卒業

**土木のスペシャリストを
目指し、
さらなる学びを。**

名城大学大学院理工学研究科 修了
Department of Materials Science and Engineering

研究10年の成果を得た大学院

大学時代に医療用の金属に関心を持つようになりました。卒論に向けて研究に励みましたが、研究に取り組むほど、工学の奥深さを感じました。「もっと勉強したい」という思いが高まり、大学院への進学を決めました。

大学院では、《生体医療用インプラント金属の開発》をテーマに研究を重ねました。海外で開催された学会で発表・ディスカッションをする機会をいただいたのは、貴重な経験です。当然ながら英語での論文執筆・発表となるので、英語力は自然と高まりました。また、自分と同様に海外の学会で発表する先輩をサポートした経験を通して、チーム

**力や指導力も身についたのではないかと思います。
実際の治療に役立つものづくり**

現在は、朝日インテックの瀬戸工場で、カテーテル治療に用いるガイドワイヤーやガイディングカテーテル、バルーンカテーテルの研究・開発を行っています。カテーテル治療とは、手首や足の付け根からカテーテルと呼ばれる細い管を挿入し、血管を広げる治療法です。コレステロールなどによって心臓の血管(冠動脈)が詰まったり狭くなることで起きる狭心症や心筋梗塞などに使います。車やテレビなどとは異なり自らの手で使用できないものなので、実際の使用環境である臨床知識も求められるのが研究上の難しさですが、ベンチテストと

ユーザーであるドクターとのディスカッションを元に新製品の開発に取り組んでいます。実験記録をきちんと取るよう心がけることは学生時代と同じですが、納期を強く意識するのは、社会人ならではの。

技術者として成長し続けるために

技術者として、仮説を立て実験し、トライ＆エラーを続けることが大事だと思います。今後は工学はもちろん、臨床に関する知識を増やし、医学の分かる技術者になりたいです。技術者を目指す後輩に助言するとしたら、英語力をつけるとともに、何かひとつでも自分の強みとなる経験を持つことをお勧めします。



**手がけた製品が
治療の現場で評価され、
やりがいを実感。**

つけ けんた
柘 賢太さん

2012年3月 名城大学大学院 理工学研究科
材料機能工学専攻 修士課程 修了
2012年4月 朝日インテック株式会社 入社
メディカル事業部研究開発グループ
第一開発チーム 所属

本社 / 愛知県名古屋守山区脇田町1703番地
瀬戸工場 / 愛知県瀬戸市暁町3番地100
事業内容 / 医療機器の開発・製造・販売、
極細ステンレスワイヤーロープおよび
端末加工品等の開発・製造・販売。
素材から製品までの一貫生産体制で
「スピード」と「試作対応力」を実現。
主力製品であるPTCAガイドワイヤーは、
日本はもちろん世界でも高いシェアを誇る。



理工学部 後援会の 活動



5 学生奨励表彰式 4 家庭教育支援セミナー 3 地区懇談会 2 ご父母のための進路セミナー 1 フレッシュマンセミナー

理工学部後援会の活動 Contents

19 ページ	1
21 ページ	2
25 ページ	3
29 ページ	4
31 ページ	5
33 ページ	6

- フレッシュマンセミナー
- ご父母のための進路セミナー
- 地区懇談会
- 家庭教育支援セミナー
- 学生奨励表彰式
- その他の活動紹介

名城大学 理工学部後援会 創立40周年を迎えて

平成28年度会長に選出されました松原でございませう。後援会会員ご父母の代表として、微力ながら今年一年がんばってまいりますので、ご支援ご協力いただきますよう、よろしくお願ひいたします。今年には理工学部後援会創立40周年という記念すべき年でもあります。40年という伝統は大切にしつつ、時代に即した新たな取り組みも行つてまいりたいと思ひます。

なお、当会では専用の事務局も設置し、常勤の職員もおりますので、ご子弟に関する些細なご相談などでもぜひ後援会を利用していただきたいと思ひます。

後援会では、1年生が入学されてすぐのフレッシュマンセミナーに始まり、卒業時には卒業パーティーの援助や卒業記念品の贈呈まで、後援会活動は入学から卒業まで幅広い支援を行っています。会員ご父母に対しましては、地区懇談会・家庭教育支援セミナー・ご父母のための進路セミナーなどさまざまな行事も縮まることでしょうか。約80名の役員・委員とともに魅力的な後援会作り邁進してまいりたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。



名城大学理工学部後援会
会長 松原 成生

後援会の組織図

平成28年度
理工学部後援会
専門担当委員会
会長 松原 成生

企画担当委員会 役割 後援会を運営するための予算編成と事業計画を推進する <ul style="list-style-type: none"> ● 予算編成 ● 会則 ● 定期総会 ● 地区懇談会 ● フレッシュマンセミナー ● ご父母のための進路セミナー 	委員長 桑田 直浩 副委員長 寺西 正明 委員 山村 和彦 岡田 圭二 佐藤 幸 伊藤 喜章 野澤 雄二 磯村 光作 澤井 秀美 水野 修 長谷川 清 鈴木 宏康 国保 久一 逸見 英治 藤村 志郎 小田原 俊二 伊藤 一男 成田 一弘 柏田 淳一 榊原 正己 津田 義憲 佐渡 直隆 伊藤 弘人 有本 昌伸 廣畑 洋祐 近藤 博之
編集担当委員会 役割 後援会自主活動の報告並びに学部の状況を会員に周知させる <ul style="list-style-type: none"> ● 理工学部紹介DVDの制作について ● 後援会会報誌「Scope」の発行について ● 後援会ホームページの制作について ● 個人情報保護について 	委員長 鶴賀 伸英 副委員長 鍋井 英雄 委員 木下 雅資 澤田 高志 石川 勝幸 田口 武彦 大島 正敬 菊地 定昭 伊藤 公一 葛山 稔晃 成田 吉男 服部 武男 岡島 淳二 山田 真裕 河田 直英 滝澤 昇一 村上 敏章 宮之上 昭彦 錦木 幸男 高村 和治 田財 明 三輪 恭久 鈴木 成一郎 増田 匡一 福田 一郎 平田 裕一郎 和田 文三
福利厚生担当委員会 役割 後援会として学生に援助し得る福利厚生事業を推進する <ul style="list-style-type: none"> ● 学生育英救済制度実施 ● 災害見舞金制度実施 ● 学生奨励制度実施 ● 家庭教育支援制度実施 ● 学生課外活動援助 	委員長 岩下 啓和 副委員長 鶴田 英孝 委員 木下 章 山田 一雄 山根 正義 澤田 貴徳 佐野 錦司 一戸 総子 加藤 淳一 齊藤 久也 中村 冬彦 高井 清和 寺野 真広 小島 久直 加藤 広和 金住 健一 山下 隆宏 若山 浩三 市川 幸和 森 久元 永富 和幸 藤木 英世 太田 啓文 深尾 泰弘 渡邊 良夫 水谷 吉文

後援会の基本姿勢

- 1 **学生への支援第一主義**
あくまでも学生への支援を第一に考えております。そして次にご父母への還元、さらに理工学部の教育・研究への援助を基本としています。
- 2 **ご父母と大学・学部とのパイプ役**
大学や学部とは連絡を密にして、協調し、ご父母と大学・学部との間のパイプ役となります。また、さまざまな行事を通じて在学中のご子弟に対する不安を解消することを図っていきます。
- 3 **ご父母の目線での活動**
常に会員であるご父母の目線で、またご父母の要望に耳を傾け、活動に反映していくことを目指しています。
- 4 **理工学部に関係する諸団体との連携強化**
理工同窓会・技術士会等、諸団体と連携を密にして、後援会活動の多角化を図ることを目指しています。



6 その他の活動紹介
定期総会

セミナー

大学生活をより充実させるために

本セミナーでは、学内で大学生活の心構えについてレクチャーを受けた後三河湾沿いのホテルに移動します。一泊二日を共に過ごすことで、同期の仲間とのつながりや、教員・先輩とのコミュニケーションが生まれます。



新入生対象
セミナー開催目的

- 1 一つのテーマについて各グループで議論し、自分の考えを伝えるとともに、相手の意見を受け入れる協調性を養います。
- 2 共同作業を通じて意欲をもって主体的に勉学をするきっかけをつくります。
- 3 信頼できる友人関係を形成することで、大学生活への不安を払拭させます。



セミナー参加前は正直なところ「少し面倒だな」と思ったりもしたけれど、実際に参加してみると、楽しくてためになることばかりで良かった!

大学内で受講したコミュニケーションやマナーについてのレクチャーでは、大切なことにあらためて気づかせてもらったな...と思えたよね。

交通機械工学科の女子5人の部屋に潜入!
自由闊達な会話で大いに盛り上がっていました。

課題についてグループごとにディスカッションするコンセンサスゲームは、最初こそ遠慮があったけれど、お互いの意見を交わし合えて面白かったよ。



男子との間に何となくあった壁が取れたし、こうして女子同士の絆が深まったし、互いに助け合いながら良い刺激を受け合える、いい大学生活になりそう!

移動のバスの中でも、お菓子を分けたりゲームをしたり...と自然と打ち解けて、少数派の女子への「話しかけづらい」雰囲気なくなったのが嬉しいな。

セミナー I

思いやりの心がマナーにつながる
「大学生としてのマナー」

社会で活躍されている講師をお招きして講演会を行います。あいさつ・コミュニケーション力・自分で考え行動する力・協調性・素直な心・思いやりの心など、1年生からマナーを身につけて、気配りのある行動ができる大学生を目指します。



セミナー II

コミュニケーションを楽しむ
「コンセンサスゲーム」

コンセンサスゲームとは、複数の人との「合意・意見の一致」を行う必要があるゲームです。ここでは「不時着した砂漠から生還するのに必要な道具の優先順位をつける」という設定で、自分の意見をそれぞれ自由に提示し、その後、グループで話し合いながら全員で一つの結論に導きます。



セミナー III

話す、聞く、まとめる、発表する
「グループディスカッション」

教員や上級生を交えて、各グループごとに列挙されたテーマから一つを選んでフリーディスカッションを進めます。グループで統一した結論を一枚の用紙にまとめます。翌朝のセミナーにて、みんなの前でプレゼンテーションを行います。



2 ご父母のための進路セミナー



**就職・大学院進学
の現状を知る機会**

理工学部の学生の進路や、最近の就職事情についての講演、就職活動を体験した学生たちの本音が聞けるパネルディスカッションなどが一体となったセミナーです。ここでは昨年の様子に沿って、主な内容をご紹介します。

●セミナー開催目的

就職活動の現状を知る
大学院で学ぶ意義を考える
学びの施設を見学する

本セミナーは、理工学部の学生たちを取りまく現状をご父母の皆さまにご説明するとともに、大学卒業後の進路についてご理解いただくことを目的として開催いたします。本セミナーを通して、理工学部の学生たちが「社会で求められる人材」となるためには何をすべきかを、ご父母の皆さまにも共にお考えいただき、お役立ていただければと願っています。

●セミナー開催日時・場所
6月25日(土) 13時～17時
(大学施設見学ツアー参加者は11時20分から)
名城大学太白キャンパス内名城ホール(N101)

●セミナー参加対象者
理工学部全学年のご父母

Check!

- 希望者事前申込特別企画
左記スケジュール①②
 - 大学施設見学ツアー
 - 『名城食堂』学食体験(無料)
 - ご来場特典
 - 『ご父母と一緒に考える理工学部生の進路』冊子進呈
- 知っておきたいご子弟をとりまく進路事情の今とこれからが分かる冊子を差し上げます。



1 **大学施設見学ツアー(希望者)**
最新の研究機能を備えた「研究実験棟Ⅱ」などを見学し、研究内容についての説明を受けます。昨年度は、附属図書館の一角に設けられた赤崎勇終身教授のノーベル賞受賞展示なども見学しました。

2 **『名城食堂』学食体験(希望者)**
ふだん学生たちが利用している学食のひとつ「名城食堂」にて、学生たちと同じようなスタイルで料理を受け取り、お召し上がりいただきます。(ただし、メニューについては当セミナー限定の内容となります)

3 **全体懇談**
後援会長、理工学部長、理工同窓会長のあいさつに続いて、理工学部における最近の就職状況についてお伝えします。企業の採用時期変更についても言及する予定です。

4 **就職と進学についての説明**
理工系分野の専門職を目指すのであれば大学院進学が望ましいと言われる中、学部卒業と同時に就職することのメリット・デメリットや大学院進学の意義、大学院進学にあたっての各種サポートについてお伝えします。

5 **パネルディスカッション**
ゲストにお迎えした企業の人事担当者から、「採用の現状について」というテーマのもとにお話をいただきます。その後、ゲストと学生代表、ご父母の代表が壇上に立ち、就職活動の実際についてのパネルディスカッションを展開します。キャリアセンター職員がコーディネーターを務め、「こんな学生に期待する」「親にしてもらって嬉しかったこと」「子どもを見ていて不安に思ったこと」など、それぞれの立場の本音を引き出していく予定です。ぜひ、参考にさせていただきたいと思います。

6 **学科別懇談**
学科ごとに用意された懇談会場に移動します。学科長あいさつの後、学科の教育方針、学科における就職状況や大学院進学についての説明があります。ご父母からの疑問・質問にお答えする時間もあります。

就職活動の現状を知る



現代の就職活動はインターネットでのエントリーが不可欠となっているなど、インターネットもES(エントリーシート)もなかったご父母世代の就職活動とは様変わりしています。特に昨今は、採用時期の変更やその影響がニュースに取り上げられており、わが子がいつ何をすべきかを知りたいとお考えの方も多いでしょう。当セミナーで、就職活動全般の流れ等をご説明します。また就職の現状をまとめた冊子もお渡ししますので、参考にさせていただけます。

大学院で学ぶ意義を考える



大学での4年間を終えると、企業に就職して社会に出るのが一般的だと思われがちですが、卒業後の進路としては、大学院への進学という道もあります。特に理工系においては、最終的には企業への就職を見据えた上で、進学する学生が多く存在します。名城大学は大学院理工学研究科を備えており、多彩な分野で最先端の研究を展開しています。学部各学科の専門基礎教育を基盤とする修士課程、修士課程の各専攻を基礎とする博士後期課程を設けています。

学びの施設を見学する

当日は、最新の研究機能を備えた地上4階地下1階建ての「研究実験棟Ⅱ」をはじめとする各種研究施設や、教授の指導のもとに院生のサポートを受けて実験に取り組む学部生たちの姿などを見学し、研究内容についての説明を受けます。大規模な実験室や、学生たちの目の輝きが印象的です。



企業の採用担当者から見た就職活動の実際と親の支援について。

昨年度の当セミナーでご講演いただいた佐々木氏に、お答えいただきました。

Q 名城大学生の印象は？

特に理工系においては、愛知県下でトップクラスという認識を持っています。学生さん一人ひとりとは、どちらかというと真面目でおとなしいイメージです。マナーはきちんとしていますし、全体の印象は良いです。

Q 企業は学生のどこを見ていますか？

企業によって何を重視するかは様々でしょう。当社の場合、学校名は重視していません。面接においては、自分の言葉で素直に表現できる学生であるか、その主張に一貫性があるか、といった点を評価します。

例えば面接に来た学生の成績が悪かったとして、なぜ悪いのか、こちらが納得するだけの説明ができる学生なら、評価は高いですよ。

Q ご父母に対して期待することは？

親の子離れでしょう。私自身、親として矛盾した思いがありますが(笑)。勤務地がどこであるかより、本人が何をしたいか・将来どうなりたいかという視点に立っての就職先選びをサポートしてほしいですね。

INTERVIEW



佐々木昌美さん

NDSソリューション株式会社
事業サポート部
採用・教育担当

大学院進学背景には社会からのニーズも

一般に理工学部生は文系学生より高い割合で大学院に進学しており、特に国立大学や有名私立大学ではこの傾向が顕著です。その理由として、ひとつには学生自身の純粋な学問的欲求があります。基礎的研究が中心な学部から、さらに本格的な研究を志してのことです。そして、それ以上に大きな理由が社会のニーズです。企業は理工学分野において、より専門性の高い知識や技術を有する人材を求め、大学院修了者を重用する傾向にあります。大学院では、専門能力が向上するとともに学部生への指導で「コミュニケーション能力や指導力も身につくため、企業の評価が高いのです。」

大学院進学を後押しする名城大学奨学金制度について

正直なところ、親としては学費も気になります。名城大学大学院では、学業成績および人物優秀な学生に対して、所属研究科長が推薦する制度を設けています。

- ① 学業優秀C奨学生：90名の学生に対して年額一律30万円を給付。
 - ② 大学院奨学生：各研究科の基準により給付。
- その他、入学金相当額を受け取れる「本学卒業等補助奨学生」や、国の事業である「日本学生支援機構大学院奨学生」などが活用できるケースもあります。ぜひご検討ください。

INTERVIEW

ご父母の皆さまの声



「参加して良かった」との声が多く寄せられています。

● 学内見学ツアーで見た各施設が興味深かったです。家で子どもと施設や実験について話ができるのが楽しみです。

● 就職か、大学院進学か。息子の希望を聞きつつ、親としても考えてみようと思います。

● パネルディスカッションでの学生の本音は親として参考になり、もっと聞きたいと思いました。

セミナー参加お申込方法

- 出席はがき／本誌に同封されているパンフレット「ご父母のための進路セミナー」の受講申込はがきに必要事項をご記入の上、申込締切期日までに投函してください。
- 名城大学理工学部後援会ホームページ「ご父母のための進路セミナー」の受講参加申込専用フォームに必要事項をご記入の上、送信してください。
- 開催会場へのアクセスなど、詳しくは後援会ホームページまたはパンフレットをご覧ください。

地区懇談会

理工学部後援会の活動

ご子弟の最新の情報を聞ける貴重なチャンス

地区懇談会は、ご父母の皆さまと理工学部の先生方が直接お話しいただくことができる貴重な機会です。例年、名古屋会場および各地方会場を設けて開催しています。ぜひとも、ご参加ください。

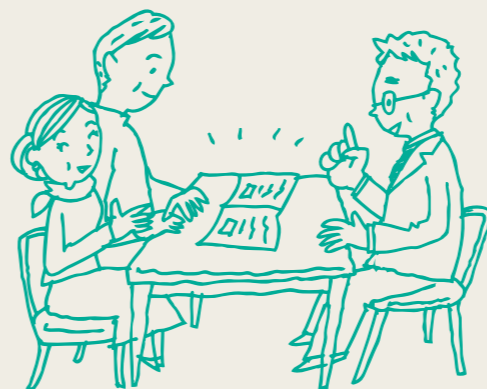


地区懇談会とは

教務就職・進学について各担当の先生より詳しくご説明します。

ご子弟の成績や進路、学生生活についてご相談いただき、きめ細やかなご説明と適切なアドバイスでお応えします。

大学の状況や進路などについて疑問や心配事を先生や他のご父母の皆さまと共に問題解決していきます。



名古屋会場

地区懇談会

スケジュール

地方会場

岡山
福岡
津
浜松
富山
大垣
松本



1 受付開始 12:30~
受付で資料等を受け取って全体懇談会会場へ向かいます。



2 理工学部紹介DVD上映 13:00
映像を通して、各学科の研究内容や学内施設、先生方のご活躍ぶりや学生たちの学部での日常の様子を知ることができます。(会報誌にDVDが添付されています)



3 全体懇談 13:40
後援会長のあいさつに続いて、学部長から理工学部の研究活動の現状や施設の充実についてほか、名城大学並びに理工学部全体の説明があります。



4 学科別懇談 14:00
学科別に分かれて、教務関係や就職、大学院進学などについての説明を受けます。



5 個別懇談・待合懇談 14:30
別室にて個別相談を行います。個別相談の順番が来るまで学科別懇談会場では学科全体についてのご父母からの質問に先生が丁寧に答えてくれます。



6 懇親パーティー 16:40~17:50
和やかな雰囲気の中で、先生とご父母が飲食をともにしながら自由に話の花を咲かせます。



- ① 受付開始 9:30~**
- ② 理工学部紹介DVD上映 10:00**
- ③ 全体懇談 10:40**
- ④ 個別懇談・待合懇談 11:20**
- ⑤ 昼食会 13:00~14:00**

全体の流れおよび内容は、各地区とも名古屋会場と共通です。理工学部とご子弟の現状についてご父母の皆さまからお気軽にご質問・ご相談いただけます。名古屋会場より参加者数が少ない分、和やかな雰囲気、年々、ご夫婦のご参加が増えています。



名古屋 13:00より開催 / 岡山・福岡・津・浜松・富山・大垣・松本 10:00より開催

地区懇談会参加お申込方法

- 出席はがき 8月初旬に郵送される「案内パンフレット」の申込はがきに必要事項をご記入の上、申込締切期日までに投函してください。
- 名城大学理工学部後援会ホームページ 参加申込専用フォームに必要事項をご記入の上、送信してください。(8月初旬より受付)

名古屋会場 10月16日(日) 13:00

数学科・情報工学科・応用化学科
交通機械工学科・環境創造学科

ホテル名古屋ガーデンパレス
名古屋市中区錦3丁目11-13
Tel.052-957-1022
「栄駅」1番出口より徒歩約5分
「伏見駅」1番出口より徒歩約8分

名古屋会場 10月22日(土) 13:00

電気電子工学科・材料機能工学科
機械工学科

名古屋会場 10月23日(日) 13:00

メカトロニクス工学科
社会基盤デザイン工学科・建築学科

名古屋栄東急REIホテル(旧東急イン)
名古屋市中区栄3丁目1-8 Tel.052-251-0109
「栄駅」8番出口より徒歩約8分
「伏見駅」4番出口より徒歩約8分

岡山会場 9月24日(土) 10:00

岡山コンベンションセンター
岡山県岡山市北区駅元町14-1
Tel.086-214-1000

福岡会場 9月25日(日) 10:00

ホテルクリオコート博多
福岡県福岡市博多区博多駅中央街5-3
Tel.092-472-1111

津会場 10月1日(土) 10:00

ホテルグリーンパーク津
三重県津市羽所町700
Tel.059-213-2111

浜松会場 10月2日(日) 10:00

ホテルクラウンパレス浜松
静岡県浜松市中区板屋町110-17
Tel.053-452-5111

富山会場 10月8日(土) 10:00

オックスカナルパークホテル富山
富山県富山市牛島町11-1
Tel.076-433-1122 (0120-372-555)

大垣会場 10月9日(日) 10:00

ロワジールホテル大垣
岐阜県大垣市宮町1-13
Tel.0584-81-0111

松本会場 10月15日(土) 10:00

松本東急REIホテル(旧東急イン)
長野県松本市深志1丁目3-21
Tel.0263-36-0109



日 ごろは学生を指導する大学教員であるのと同時に、我々自身も子を持つひとりの親です。特に懇親パーティーのような場では、大学生の息子や娘の親という同じ立場でお話できるのが嬉しいですね。



懇親パーティーは和やかな空気に包まれ、会場のあちこちで談笑風景が見受けられました。先生方のコメントもご紹介しましょう。



理 工学部についてご父母により深くご理解いただく上でも、このような交流の場が設けられているのは良いことだと思います。学生一人ひとりをより良く成長させたいという思いは、お互い共通です。



多 くの理工系の大学では大学院が一般的となっていることなど、時流をご父母に知っていただく良い機会であると同時に、学生たちを指導する者として我々が親の気持ちを知る貴重な機会でもあると思います。



地区懇談会に参加されたご父母の皆さまの「声」



材料機能工学科3年生のご父母 機械工学科3年生のご父母 電気電子工学科2年生のご父母 交通機械工学科2年生のご父母 メカトロニクス工学科1年生のご父母

他のご父母にも参加をお勧めしたいです。
子どもが入学した年にもこの会に参加しましたが、3年生となり、徐々に卒業も視野に入ってきたことから、あらためて夫婦での参加を決めました。子どもの成績の現状がわかり、就職活動に際しての親としてのアドバイスポイントなどもお聞きすることができて、とても参考になりました。

懇親パーティーでの先生方のお話も楽しい。
昨年に続いたの参加です。娘がこの先、大学院に進学するか就職活動に入るかは本人の気持ちで大切にしたいと考えていますが、まずは成績について現状がわかり、安心しました。また、立食スタイルのパーティーは誰もが気軽に話せる雰囲気なので、先生方について知る良い機会ともなっていると思います。

きめ細かなアドバイスがありがたい。
息子も2年生となり、そろそろ成績のことが気になり始めたことから、参加を決めました。各科目についてきめ細かなアドバイスをいただくことができ、非常に参考になりました。また、ここで得た様々な情報は、家で息子と大学や卒業後について話すきっかけともなるので、親としてとても助かります。

成績や、就職について聞けました。
会報誌Scopeの「行く」と良い」との情報をみて参加を決めました。家で息子に大学について聞いても「別に何も」という答えで、心配していましたが、単位の修得状況や成績についてこの場でお聞きすることができ、安心しました。息子の希望する業界への就職について情報を得られたのも良かったです。

大学についての理解につながりました。
私たち夫婦はどちらとも文系出身なので、この機会を通して、理工系学生の大学生活や成績評価についての理解を深められました。こうした場があると親としては安心できます。子どもの大学生活はまだ始まったばかりですが、大学院進学を含めて、卒業後にも目を向ける良いきっかけにもなりました。

※学年は平成27年10月現在のもの



講演会および心理学講座を実施
家庭教育の重要性について、あらためてご確認いただくとともに、ご子弟の悩みごとを親として受け止める能力を身につけていただくことを目的として開催するものです。ぜひともご活用ください。

家庭に活かす心理学講座

当講座は心理学を中心とした内容をご父母の皆さまにご提供し、それをご家庭に活かしていただき、より一層の教育力向上を目指す目的で開設されました。心理学については初学者にもわかりやすく、初歩から解説します。

心理学等の学問的内容の理解をし、家庭教育に活用していただくことは重要ですが、さらにこの講座を受講したことにより、ご父母世代の「自分探し」、また子育てが終わってからのこれから続いていく質の高い人生への参考となっていただけでしたら幸いです。

名城大学天白キャンパス
11号館 504教室・第一会議室
平成28年7月～平成29年3月 全20回

●担当講師

鈴木亮子 先生

鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 医療福祉学科 准教授

吉住隆弘 先生

中部大学 人文学部 心理学科 准教授

吉田琢哉 先生

岐阜聖徳学園大学 教育学部 准教授

早川由美 先生

名古屋工業大学 学生相談室カウンセラー

川島一晃 先生

皇學館大学 文学部 コミュニケーション学科 助教

信太寿理 先生

愛知淑徳大学 非常勤講師

吉本直美 先生

神奈川大学 マルチモーダル研究所 プロジェクト研究員

●受講時間 各回 13:00～16:15(休憩15分)

●定員 50名(1度当講座を受講されたご父母はお申込できません)

●受講料 無料(別途教材費がかかる場合があります)



家庭教育支援セミナー講演会

優秀な講師を全国各地に派遣し、気軽な講演会、フリーディスカッションなどを通じて家庭教育の重要性を認識していただき、ご父母の皆さまが身近な相談役としてご子弟の悩みなどに対応する能力を身につけていただくことを目的としています。

このセミナーは全国の大学に先駆けて名城大学が開講し、文部科学省、地方自治体、マスコミなども大変注目しており、毎年多くのご父母の方が参加しています。講演会は何回でも受講できますので、よりいっそう内容が深まり、参考にいただけます。

名古屋会場 7月16日(土) 名城大学 天白キャンパス 11号館 504教室



生涯発達心理学と発達障害
—発達障害を知覚認知心理学から理解する—



和氣洋美 先生

神奈川大学
名誉教授
博士/医学
専門/知覚認知心理学
高齢者障害者福祉心理学

浜松会場 8月20日(土) サーランティ浜松2階 終

名古屋会場 9月4日(日) 名城大学 ナゴヤドーム前キャンパス 西館2階 レセプションホール



日本の子どもの社会



吉田俊和 先生

岐阜聖徳学園大学
教育学部 教授
名城大学 名誉教授
博士/教育心理学
専門/社会心理学

津会場 9月3日(土) 三重県教育文化会館 第三会議室

名古屋会場 9月18日(日) 名城大学 ナゴヤドーム前キャンパス 西館2階 レセプションホール



現代青年における
心理的自立の課題



平石賢二 先生

名城大学大学院
教育発達科学研究科
教授
博士/教育心理学
専門/生涯発達心理学

●講演 13:00～14:20

●質疑応答・フリーディスカッション 14:30～15:10

●受講料 無料

セミナー参加お申込方法

- 出席はがき/本誌に同封されている各パンフレット、「家庭教育支援セミナー 講演会」または「家庭に活かす心理学講座」の受講申込はがきに必要事項をご記入の上、申込締切期日までに投函してください。
- 名城大学理工学部後援会ホームページ/「家庭教育支援セミナー 講演会」または「家庭に活かす心理学講座」の各受講参加申込専用フォームに必要事項をご記入の上、送信してください。
- 各開催会場やアクセスなど、詳しくは後援会ホームページまたは各パンフレットをご覧ください。



平成27年度 理工学部後援会 学生奨励制度表彰者 (学年は平成28年3月現在のもの)

学術関係

数学科	3年 大宮 尚樹	3年 小木曾 圭
	3年 佐藤 友紀	3年 長谷川 愛
情報工学科	3年 磯野 史尚	3年 田中 久順
	3年 土井 光貴	3年 山嶋 佑樹
電気電子工学科	3年 岩田 直幸	3年 神谷 緋奈子
	3年 佐藤 弘輝	3年 田島 拓也
材料機能工学科	3年 川瀬 雄太	3年 黒川 広朗
	3年 高木 健太	3年 高橋 一矢
応用化学科	3年 樺原 大輝	3年 中城 雄太
	3年 平野 晶子	3年 細川 芽依
機械工学科	3年 加藤 慶喜	3年 北本 真一朗
	3年 内藤 嵩久	3年 山根 良太
交通機械工学科	3年 稲垣 芳彦	3年 大西 良
	3年 大野 紘平	3年 山田 凌輔
メカトロニクス工学科	3年 石川 雄基	3年 菅沼 雄介
	3年 中村 友紀	3年 村瀬 裕司
社会基盤デザイン工学科	3年 半谷 尚士	3年 森 理帆
	3年 山田 聡徳	3年 吉田 早悠里
環境創造学科	3年 天野 寛隆	3年 荻山 弘夢
	3年 児玉 悠佑	3年 平林 悠
建築学科	3年 児玉 春香	3年 菅原 真帆
	3年 中島 由真	3年 山中 良太

スポーツ関係

- 少林寺拳法部
建築学科4年 奥野 文尊
第51回少林寺拳法東海学生大会 立会評価法 男子重量級 優勝
- 女子駅伝部
数学科3年 湯澤 ほのか
第9回東海学生女子駅伝対校選手権大会 優勝
2015全日本大学女子選抜駅伝競走 準優勝
- パーベルトレーニング部
建築学科4年 加藤 拳叶
第44回中部学生パワーリフティング選手権大会 93kg級 優勝
材料機能工学科3年 後藤 佑介
第44回中部学生パワーリフティング選手権大会 105kg級 優勝
- バレーボール部
第140回東海大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会 優勝
- 陸上競技部
数学科4年 番場 京
東海学生陸上競技春季大会 女子400m 優勝

文化関係

- エコノパワークラブ
本田宗一郎杯Honda エコマイレージチャレンジ2015 第35回全国大会 グループⅢ(大学・短大・高専・専門学校生クラス) 優勝・準優勝
- 将棋部
第46回全日本学生将棋団体対抗戦(学生王座戦) 優勝
- 第32回JIA東海支部設計競技 学生の部
銀賞 建築学科4年 川端 一輝
建築学科4年 桐谷 万奈人
銅賞 環境創造学科2年 前田 真里
- 第10回愛知建築士会学生コンベンAGYOYA2027 都市の祝祭@SAKAE
最優秀賞 建築学科4年 後藤 唯



日ごろの努力の
結実を讃える
学術・スポーツ・文化の各分野において、めざましい活躍をしたと認められる学生たちを後援会が表彰する学生奨励制度です。平成27年度は53名・3団体が選ばれ、2月24日(水)に表彰式が行われました。

がんばってきたことが
認められてうれしい!

限られた時間の中での学業と部活との両立はかなり大変でしたが、全員食らいついてがんばりました。優勝できたのは、仲間からはいつも勇気をもらい、みんなで力を出し合い、練習の成果が100%発揮できたからこそだと思います。先生と仲間たちと共有した、このかけがえのない充実した時間を私たちは決して忘れません。

バレーボール部のみなさん



名城大学理工学部後援会 学生奨励制度表彰規定

- 1 目的 この制度は、名城大学理工学部の学生で、人物・学業共に、優れた者あるいはスポーツ並びに文化活動において、大学の名声をともに広めた者に対し、その功績をたたえとともに、本人をはじめ他の学生の今後の励みになることを念願して設立する。
- 2 適用範囲 名城大学理工学部在籍する学生。
- 3 審査方法及び機関 理工学部長の推薦により、理工学部後援会福利厚生委員会において審議決定する。
- 4 審議時期 適時
- 5 奨励方法 表彰状並びに副賞(記念品)とする。
- 6 ① 表彰者選出基準

区分	資格	基準	年間引当数
学術関係	個人	3・4学年に在籍する者のうち、人物・学業共に優秀な学生で各学科ごとに推薦された者。	1学科4名以内
スポーツ関係	個人又は団体	一、名城大学体育運動部に所属し、東海大学選手権大会又はリーグ戦等に於いて優勝したチーム。又は個人。 二、全国的規模における競技会に於いて3位以上に相当する賞を受けた個人又は団体。 三、前二、二名優勝者以外で個人賞として特別に表彰された者。 四、体育会運動部主将として著しく部の発展に貢献した者。但し在学中一回限りとする。	若干名
文化関係	個人又は団体	一、名城大学文化クラブに所属し、東海又は中部大会以上の競技会に於いて優勝した個人又は団体。 二、前号以外で、全国的規模における競技会に於いて3位以上に相当する賞を受けた個人又は団体。	若干名

- ② 上記区分以外で、会長若しくは学部長の推薦により、後援会福利厚生委員会が妥当と認められた者に対しても、上記区分に該当する者と同様に表彰することができる。
- ③ 前項①②共、後援会費納入会員の子弟とする。
- 7 表彰方法 表彰者氏名及び該当事項を公示し、後援会委員会の席上において表彰する。
- 8 施行期日 昭和57年4月1日付をもって施行する。
附則 平成5年10月21日 一部改正 平成10年3月24日 一部改正 平成11年6月4日 一部改正 平成25年1月30日 一部改正 以上





学生とご父母を 多面的にサポート

理工学部後援会では、本誌面でご紹介してきた諸活動のほか、定期総会をはじめとする様々な支援・援助活動を行い、学生とご父母の皆さまをサポートしています。ぜひご利用ください。

定期総会の開催

平成28年4月1日(金)の入学式後、太白キャンパス共通講義棟(東)304教室において、名城大学理工学部後援会定期総会が開催されました。講義はすべて承認され、平成28年度会長には松原成生氏(環境創造学科4年ご父母)が選出されました。

理工学部後援会 ホームページの制作

後援会活動や大学についての最新の情報を迅速にご父母の皆さまに提供するため、ホームページを制作しておりますので一度ご覧ください。また、「ご父母のための進路セミナー」「地区懇談会」「家庭教育支援セミナー」のお申込みもホームページから行うことができますので、ぜひご利用ください。

理工学部紹介DVDを制作

「名城大学理工学部紹介DVD」を制作し、毎年開催される地区懇談会などで上映しています。

理工学部後援会ホームページ



年1回発行される会報誌「Scope」

会報誌「Scope」の発行

後援会活動の紹介、キャンパス、ご子弟の様子、ご父母の皆さまの声を掲載しています。

難関資格取得者に 記念品を贈呈

学生が取得した資格の中で、難関資格を取得した学生に対し記念品を贈呈します。

学生用図書への援助

学生の勉強の参考となる図書の購入を援助しています。それらの書籍や雑誌は、気軽に手に取れるような場所(学科事務室や各研究室など)で管理していますので、積極的にご利用ください。

卒業記念品贈呈

卒業パーティー援助

会員ご子弟の卒業生全員に対し記念品を贈呈しています。

学会発表の援助

学会や研究会で発表する学生へ旅費や参加費を援助しています。

こんにちは。名城大学理工学部後援会事務局です。

後援会事務局は常勤職員3名が常駐しています。事務局は11号館2階(11-221室)にあります。後援会に対して、ご意見などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。また、ご子弟の学生生活等について、不安などありましたらご相談に応じます。家計が急変された方もご遠慮なくご相談ください。なお、ご相談内容については秘密厳守いたしますので、ご安心ください。

Tel&Fax 052-831-9214 jimukyoku@meijo-rikokoen.jp
理工学部後援会ホームページ http://www.meijo-rikokoen.jp



事務局に寄せられる よくあるお問い合わせ

- 大学に通学しているかどうかわからない
- 今の状態で、就職できるのだろうか?
- 子どもの成績が芳しくない
- 最近、子どもがあまり話さなくなって心配
- 家計が急変し、経済的事情で就学が難しくなった

私たちが サポートします。

堀一貴 事務局長

人と話すこと、人と関わることが大好きな、明るい性格です。笑うことを第一に考え、落語や漫才などを聴いて、皆さまに笑ってもらえる話術を勉強しています。吹奏楽については、名城大学ではおそらく一番詳しいとの自負もあります。aikofanであり、ライブの時に派手に踊っている姿は普段からは想像できません。また熱心な中日ドラゴンズのファンです。

〔主な担当〕 ● 後援会事務全般 ● ホームページ・理工学部紹介DVD・会報誌Scopeなどの広報関係 ● フレッシュマンセミナー・ご父母のための進路セミナー・家庭教育支援セミナーなど

吉本直美 会計幹事(事務局次長)

後援会業務以外にも研究者としての一面も持っています。人間科学博士も取得し、年に数回の学会発表もこなし、さらに多くの研究会にも参加しています。自己研鑽に忙しいながらも、趣味の時間も大切に、海外で語学の研修をするなどエネルギーに活動しています。

〔主な担当〕 ● 後援会会計および事務全般 ● 地区懇談会・育英給費生制度・後援会寄贈図書・学生奨励表彰制度・名簿管理など

林友美 契約職員

後援会事務局には、学生さんや先生方ほか、様々な方が訪ねていらつやいます。皆さまのお役に立てるよう、仕事に励む日々です。3年ほど前から趣味のひとつとして書道に取り組んでおり、筆を手に、心を鎮めています。その一方、高校生の娘と、劇団四季のミュージカルを観て心躍らせるひとときも、大切なリフレッシュの時間です。

〔主な担当〕 ● 事務全般(事務補助業務)

(名城大学理工学部後援会 創立40周年記念) DVD 特別プレゼント!



必見!

赤崎勇終身教授・天野浩特別教授・飯島澄男終身教授へのインタビュー
「世紀の発明・発見ストーリー」が入った特典映像付き
名城大学理工学部紹介DVDをプレゼント! ぜひご覧ください。